

## 自然災害発生時における業務継続計画（BCP）

大萱教室・一里山教室・長岡天神教室 共通

障害福祉サービス類型：通所系

令和8年4月1日 改定

## 対象事業所

| 教室     | 所在地                                | 電話番号         | 教室長（管理者） | 提供事業                       |
|--------|------------------------------------|--------------|----------|----------------------------|
| 大萱教室   | 滋賀県大津市大萱一丁目4-23 エンゼルプラザ瀬田駅前101（1階） | 077-544-7707 | 高畑 静香    | 児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援 |
| 一里山教室  | 滋賀県大津市一里山一丁目1-1 グランドール式番館110号室（1階） | 077-526-5288 | 田代 憲二    | 児童発達支援・放課後等デイサービス          |
| 長岡天神教室 | 京都府長岡京市長岡2丁目26-13 3階               | 075-754-6363 | 西尾 昌代    | 児童発達支援                     |

法人名：医療法人杏華会（代表者：理事長 浅井 大介）。本計画は「第1部 共通編」（3教室共通の方針・手順）と「第2部 教室別事項」（各教室の地域リスク・避難場所・備蓄等）で構成する。

## 第1部 共通編

## 1. 総論

## （1）基本方針

本計画は、大地震等の自然災害をはじめとした突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断せざるを得なくなった場合であっても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を、3教室共通のものとして示すものである。

## （2）推進体制

| 主な役割           | 部署・役職     | 氏名等                        | 補足  |
|----------------|-----------|----------------------------|-----|
| 全体統括           | 理事長       | 浅井 大介                      | 医師  |
| 全体統括 補佐        | 副理事長      | 浅井 一美                      | 看護師 |
| 関係機関との連携、利用者対応 | 各教室長（管理者） | 大萱＝高畑静香／一里山＝田代憲二／長岡天神＝西尾昌代 |     |
| 教室長補佐          | 各教室の常勤職員  |                            |     |

## （3）リスクの把握

①ハザードマップなどの確認、②被災想定（自治体公表の被災想定・交通被害等）は、教室ごとに立地・地域リスクが異なるため、**第2部 教室別事項**に定める。

【自施設で想定される影響（共通の目安）】

|      | 当日               | 2日目 | 3日目 | 4日目 | 5日目 | 6日目 | 7日目 | 8日目 | 9日目 |
|------|------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 電力   | 停電               | →   | 復旧  | →   | →   | →   | →   | →   | →   |
| 飲料水  | ウォーターサーバー・貯蔵     | →   | →   | 復旧  | →   |     |     |     |     |
| 生活用水 | 貯蔵（トイレは簡易トイレを使用） | →   | →   | 復旧  | →   |     |     |     |     |
| 携帯電話 | 使用不可             | 復旧  | →   | →   | →   | →   | →   | →   |     |
| メール  | 使用不可             | 復旧  | →   | →   | →   | →   | →   | →   |     |

#### （４）優先業務の選定

①優先する事業：通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービス）を優先する。保育所等訪問支援（大萱教室）は当座停止する。教室ごとの優先事業・必要職員数は第２部に定める。

②優先する業務：直接支援（利用者の安全確保・帰宅支援）を最優先とする。

#### （５）研修・訓練の実施、ＢＣＰの検証・見直し

①定期的な訓練・研修を実施し、災害時に備えを怠らない体制を構築する。利用児童にも心構え等をわかりやすく伝えていく。**避難訓練 年２回／ＢＣＰ研修 年１回**（実施月は教室ごとに第２部で定める）。訓練が一過性で終わらず、継続して実施することを担保する。

②災害対策委員会は、職員から業務継続計画（ＢＣＰ）について改善すべき事項の意見を聞き、その内容を委員会の議論に反映する。定期的に研修会・評価を行い、責任者が責任を持って承認する（ＰＤＣＡサイクルの継続）。

## ２．平常時の対応

#### （１）建物・設備の安全対策

- ①人が常駐する場所の耐震措置：各教室とも建築基準法上の基準を満たした建物に入居している。
- ②設備の耐震措置：ロッカー・ラック等は転倒防止対策を行い、消火器等の設備は定期的に点検する。設備等に関しては定期的な日常点検を実施する。
- ③水害対策：施設周辺の浸水の危険性、建物外壁等のひび割れ・欠損、暴風により危険性のある箇所がないかを定期的に確認する。

#### （２）電気が止まった場合の対策

| 稼働させるべき設備 | 代替策       |
|-----------|-----------|
| 事業所携帯     | モバイルバッテリー |
| 照明        | 懐中電灯・ランタン |
| 暖房        | カイロ       |

#### （３）ガスが止まった場合の対策

各教室ともガスは使用していないため、対策を要しない。

#### （４）水道が止まった場合の対策

①飲料水：ウォーターサーバー内の飲料水を使用する。なくなれば保存水を使用する。保存水は（職員と利用者数）×2L×1日分を確保し、保存期間に留意する。

②生活用水：保存水（職員と利用者数）×2L×1日分を確保し、保存期間に留意する（トイレは簡易トイレを使用）。

#### （５）通信が麻痺した場合の対策

事業所用携帯電話1台（各教室）。携帯電話・携帯メール・SNS等を併用する。

#### （６）システムが停止した場合の対策

Googleのクラウドサービスを使用しているため、データは常時保存されている。また、療育支援システム（Hug）を使用しており、契約中はデータが保存されている。

#### （７）衛生面（トイレ等）の対策

①トイレ対策：利用者・職員とも簡易トイレを備蓄しておく。②汚物対策：衛生面に考慮して建物外部に保管する。保管する際は、動物等の被害を想定した対応を心がける。

#### （８）必要品の備蓄

被災時に必要な備品はリストに整理し、計画的に備蓄する。消費期限があるものはメンテナンス担当者（管理者）を決め、定期的買い替える。教室ごとの備蓄リストは第２部に定める。

#### （９）資金手当て

損害保険に加入している。緊急時の資金については、教室運営費として各事業所に経費を置いている。

### ３．緊急時の対応

#### （１）ＢＣＰ発動基準

【地震】震度６以上の地震が発生し、被災状況や社会的混乱を総合的に勘案し、管理者が必要と判断した場合、管理者の指示によりＢＣＰを発動し、対策本部を設置する。

【水害】水害が発生すると予見できる場合には、教室を閉所するため発動しない。

| 管理者不在時の代替者  | 代替者①          | 代替者②       |
|-------------|---------------|------------|
| 児童発達支援管理責任者 | 正社員のうちで社歴が長い者 | 正社員のうちで年長者 |

#### （２）行動基準

利用児童と自分の生命を守る行動を心がける。

#### （３）対応体制

| 班         | 役割                                                   |
|-----------|------------------------------------------------------|
| ①情報班（常勤者） | 行政や外部機関と連絡を取り、正確な情報の入手に努めるとともに適切な指示を仰ぎ、管理者に報告する。     |
| ②消火班（常勤者） | 地震発生直後は直ちに火元の点検及び確認を行い、発火の防止に万全を期するとともに、発火の際は消火に努める。 |

|                    |                                                 |
|--------------------|-------------------------------------------------|
| ③応急物資班（常勤者及びパート職員） | 食料や飲料水などの確保に努めるとともに、配布を行う。                      |
| ④安全指導班（常勤者及びパート職員） | 利用者の安全確認、施設設備の損傷を確認し報告する。責任者の指示があれば利用者の避難誘導を行う。 |
| ⑤救護班（常勤者及びパート職員）   | 負傷者の救出、応急手当及び病院等への搬送を行う。                        |
| ⑥地域班（常勤者及びパート職員）   | 地域住民や近隣の福祉施設と共同した救護活動、ボランティア受け入れ体制の整備や対応を行う。    |

#### （４）対応拠点

| 第１候補場所                | 第２候補場所             | 第３候補場所               |
|-----------------------|--------------------|----------------------|
| 医療法人杏華会 あかい家のこどもクリニック | 医療法人 みどりの森こどもクリニック | あおい湖のこどもサポートルーム（各教室） |

#### （５）安否確認

①利用者：教室利用時は室内（ワンフロア）で安否確認を実施する。避難を優先する場合もある。負傷者がいる場合は応急処置を行い、必要な場合は協力医療機関にて対応する。

②職員：【施設内】室内（ワンフロア）で安否確認を実施する。【自宅等】電話・SNS等にて安否確認を行う。

#### （６）職員の参集基準

自宅等が被災していない場合は、例外なく参集となる。ただし、家族の安全確保を優先させる。

#### （７）施設内外での避難場所・避難方法

教室ごとの避難場所・避難方法は第２部に定める。浸水の危険性がある場合は、上階等への垂直避難を優先する。

#### （８）重要業務の継続

| 経過目安    | 発生日                         | 発生後１日    | 発生後２日    | 発生後３日 |
|---------|-----------------------------|----------|----------|-------|
| 職員数     | 教室別事項による（大萱２名／一里山３名／長岡天神３名） | 同左       | 同左       | 同左    |
| 在庫量     | １００％                        | ８０％      | ６０％      | ４０％   |
| ライフライン  | 停電・断水                       | 停電・断水    | 停電・断水    | 断水    |
| 重要業務の基準 | 利用者を無事に帰宅させる                | 休止もしくは減少 | 休止もしくは減少 | 減少    |

#### （９）職員の管理

①休憩・宿泊場所：休憩場所は通常と同様に対応する。宿泊場所は不要。

②勤務シフト：参集した職員の人数により、職員の体調および負担の軽減に配慮して勤務体制を組むよう、災害時の勤務シフトは柔軟に取り扱う。

## （１０）復旧対応

①破損箇所の確認：建物・設備の被害点検シート（躯体・電気・水道・電話・インターネット・ガラス・ロッカー・天井・床面・壁面・照明等）により確認する。

②業者連絡先一覧の整備：

| 業者名     | 連絡先          | 業務内容  |
|---------|--------------|-------|
| エムズワークス | 077-552-4666 | 建築・建設 |

③情報発信：関係機関・地域・マスコミ等への説明・公表・取材対応は、随時SNS（インスタグラム・ホームページ・LINE）等にて公表する。

## ４．他施設との連携

（１）連携体制の構築：法人内で連携を図る。連携協定書の締結は現在のところ予定はない。連携関係のある医療機関・相談支援事業所等は第２部に定める。

（２）連携対応：

- ①事前準備：法人内施設間連携（防災研修、利用者受け入れ相談、相互交流、事業所の情報発信、被災時の連絡先交換）。
- ②利用者情報の整理：法人内で情報を共有している。
- ③共同訓練：教室内で行うほか、建物・法人の避難訓練にも参加する（教室ごとの実施は第２部参照）。

## ５．地域との連携

（１）被災時の職員の派遣：災害時に、公的な対策本部の要請があれば対応する。

（２）福祉避難所の運営：福祉避難所の指定・開設の事前準備は、随時対応する。

## ６．通所サービス固有事項

【平時からの対応】

- サービス提供中に被災した場合に備え、緊急連絡先の把握にあたっては、複数の連絡先や連絡手段を把握しておく。
- 平常時から、地域の避難方法や避難場所に関する情報に留意し、地域の関係機関と良好な関係を作るよう工夫する。

【災害が予想される場合の対応】

- 台風などで甚大な被害が予想される場合などにおいては、サービスの休止・縮小を余儀なくされることを想定し、あらかじめその基準を定めておくとともに、利用者にも説明する。

【災害発生時の対応】

- サービス提供を長時間休止する場合は、必要に応じて、他事業所のサービス等への変更を検討する。
- 利用中に被災した場合は、利用者の安否確認後、あらかじめ把握している緊急連絡先を活用し、利用者家族への安否状況の連絡を行う。利用者の安全確保や家族への連絡状況を踏まえ、順次利用者の帰宅を支援する。その際、送迎車の利用が困難な場合も考慮して手段を検討する。帰宅にあたって、可能なかぎり利用者家族の協力を得る。関係機関とも連携しながら近くの避難所への移送等も対応する。

## 第2部 教室別事項

### 大萱教室

#### (1) 事業所概要

| 所在地                                | 電話番号         | 教室長（管理者） | 提供事業                       |
|------------------------------------|--------------|----------|----------------------------|
| 滋賀県大津市大萱一丁目4-23 エンゼルプラザ瀬田駅前101（1階） | 077-544-7707 | 高畑 静香    | 児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援 |

#### (2) 地域リスク・被災想定

| 区分         | 想定内容                                                                                                                                                              |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地震         | 琵琶湖西岸断層帯地震（高島市～大津市国分付近、全長約59km。南部でM7.5程度）、花折断層帯地震、南海トラフ巨大地震（大津市で震度6弱程度を想定）等により、震度6強～6弱の揺れが想定される。建物倒壊、外壁破片の落下、ガラスの破損、天井材・物品の落下、火災の発生、ライフライン（電気・水道）の停止、通信手段の途絶のおそれ。 |
| 水害         | 中小河川・水路の氾濫や内水氾濫により、当教室所在地は浸水深約1mの想定（大津市ハザードマップ）。琵琶湖・瀬田川・大戸川等の大河川の洪水浸水想定区域についても市の土砂・洪水ハザードマップで確認する。                                                                |
| 交通被害（地震直後） | 道路：名神高速道路・京滋バイパス・琵琶湖大橋・近江大橋は通行止め、国道1号線は通行不能。鉄道：JR琵琶湖線・湖西線は不通。                                                                                                     |
| その他・立地     | 所在地はJR瀬田駅前の市街地に位置する。土砂災害警戒区域等の該当有無および最新の被災想定は、大津市ハザードマップ・滋賀県防災情報マップで随時確認する。                                                                                       |

#### 【ハザードマップの確認先】

- 大津市ハザードマップ  
<https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/005/1223/bosai/map/index.html>
- 滋賀県防災情報マップ  
<https://shiga-bousai.jp/>
- 重ねるハザードマップ（国土交通省）  
<https://disaportal.gsi.go.jp/>

#### (3) 避難場所・避難方法

| 区分  | 第1避難場所         | 避難方法                                                    |
|-----|----------------|---------------------------------------------------------|
| 施設内 | 玄関前スペース        | 安全確認ののち、落ち着いて行動する。                                      |
| 施設外 | 建物倒壊の被害を受けない場所 | 避難時は靴を履く。周囲の状況を確認して安全確保に努める。浸水のおそれがある場合は上階等への垂直避難を検討する。 |

#### （４）優先業務・体制

優先する事業：児童発達支援・放課後等デイサービス（通所支援）／当座停止する事業：保育所等訪問支援／優先業務（直接支援）に必要な職員数（常勤換算）：午前 2名・午後 2名

研修・訓練：避難訓練 年2回（8月・3月）／BCP研修 年1回（3月）

#### （５）備蓄品リスト

##### 【飲料・食品】

| 品名    | 数量 | 消費期限 | 保管場所      |
|-------|----|------|-----------|
| 保存水2L | 6本 | 5年前後 | 待機室ソファ収納内 |
| ビスケット | 2箱 | 5年前後 | 待機室ソファ収納内 |

##### 【医薬品・衛生用品】

| 品名      | 数量 | 保管場所 |
|---------|----|------|
| 救急箱セット  | 1  | 事務所  |
| 非常持ち出し袋 | 1  | 事務所  |

##### 【備品】

| 品名    | 数量 | 保管場所      |
|-------|----|-----------|
| ヘルメット | 8  | 待機室ソファ収納内 |
| 防災頭巾  | 5  | 待機室ソファ収納内 |

※メンテナンス担当：管理者

#### （６）連携先

##### 【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

| 医療機関名         | 連絡先          |
|---------------|--------------|
| あかい家のこどもクリニック | 077-572-5800 |
| みどりの森こどもクリニック | 077-548-7154 |

##### 【連携関係のある相談支援事業所等】

| 名称          | 連絡先          | 連携内容    |
|-------------|--------------|---------|
| のびのび相談支援事業所 | 077-545-0066 | 相談支援事業所 |

【共同訓練】教室内で行う。また建物が入っているマンションの避難訓練にも参加をする。



## 一里山教室

### (1) 事業所概要

| 所在地                                | 電話番号         | 教室長（管理者） | 提供事業              |
|------------------------------------|--------------|----------|-------------------|
| 滋賀県大津市一里山一丁目1-1 グランドール式番館110号室（1階） | 077-526-5288 | 田代 憲二    | 児童発達支援・放課後等デイサービス |

### (2) 地域リスク・被災想定

| 区分         | 想定内容                                                                                                                                          |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地震         | 琵琶湖西岸断層帯地震（南部でM7.5程度）、花折断層帯地震、南海トラフ巨大地震（大津市で震度6弱程度を想定）等により、震度6強～6弱の揺れが想定される。建物倒壊、外壁破片の落下、ガラスの破損、天井材・物品の落下、火災の発生、ライフライン（電気・水道）の停止、通信手段の途絶のおそれ。 |
| 水害         | 中小河川・水路の氾濫や内水氾濫により、当教室所在地は浸水深約3mの想定（大津市ハザードマップ）。教室は1階のため、水害が予見される場合は閉所を原則とし、急な浸水時は上階等への垂直避難を最優先する。                                            |
| 交通被害（地震直後） | 道路：名神高速道路・京滋バイパス・琵琶湖大橋・近江大橋は通行止め、国道1号線は通行不能。鉄道：JR琵琶湖線・湖西線は不通。                                                                                 |
| その他・立地     | 所在地は瀬田・一里山地区の市街地に位置する。土砂災害警戒区域等の該当有無および最新の被災想定は、大津市ハザードマップ・滋賀県防災情報マップで随時確認する。                                                                 |

#### 【ハザードマップの確認先】

- 大津市ハザードマップ  
<https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/005/1223/bosai/map/index.html>
- 滋賀県防災情報マップ  
<https://shiga-bousai.jp/>
- 重ねるハザードマップ（国土交通省）  
<https://disaportal.gsi.go.jp/>

### (3) 避難場所・避難方法

| 区分  | 第1避難場所          | 避難方法                                                     |
|-----|-----------------|----------------------------------------------------------|
| 施設内 | 玄関前スペース（窓のない壁際） | 安全確認ののち、落ち着いて行動する。                                       |
| 施設外 | 建物倒壊の被害を受けない場所  | 避難時は靴を履く。周囲の状況を確認して安全確保に努める。浸水のおそれがある場合は上階等への垂直避難を最優先する。 |

### (4) 優先業務・体制

優先する事業：児童発達支援・放課後等デイサービス（通所支援）／優先業務（直接支援）に必要な職員数（常勤換算）：午前3名・午後3名



研修・訓練：避難訓練 年2回（8月・3月）／BCP研修 年1回（8月）

（５）備蓄品リスト

【飲料・食品】

| 品名    | 数量 | 消費期限 | 保管場所 |
|-------|----|------|------|
| 保存水2L | 6本 | 5年前後 | 待機室  |
| ビスケット | 4箱 | 5年前後 | 待機室  |

【医薬品・衛生用品】

| 品名      | 数量 | 保管場所 |
|---------|----|------|
| 救急箱セット  | 1  | 事務所  |
| 非常持ち出し袋 | 1  | 玄関   |

【備品】

| 品名          | 数量 | 保管場所    |
|-------------|----|---------|
| ヘルメット       | 8  | 待機室・事務所 |
| 防災用頭巾（子ども用） | 5  | 待機室     |

※メンテナンス担当：管理者

（６）連携先

【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

| 医療機関名         | 連絡先          |
|---------------|--------------|
| あかい家のこどもクリニック | 077-572-5800 |
| みどりの森こどもクリニック | 077-548-7154 |

【連携関係のある相談支援事業所等】

| 名称          | 連絡先          | 連携内容    |
|-------------|--------------|---------|
| のびのび相談支援事業所 | 077-545-0066 | 相談支援事業所 |

【共同訓練】 教室内で行う。また建物が入っているマンションの避難訓練にも参加をする。

長岡天神教室

（１）事業所概要

| 所在地                  | 電話番号         | 教室長（管理者） | 提供事業   |
|----------------------|--------------|----------|--------|
| 京都府長岡京市長岡2丁目26-13 3階 | 075-754-6363 | 西尾 昌代    | 児童発達支援 |

## （２）地域リスク・被災想定

| 区分         | 想定内容                                                                                                                                                                |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地震         | 有馬－高槻断層帯地震、南海トラフ巨大地震等により強い揺れが想定される（長岡地区の30年以内の発生確率：震度5強以上43.0％、震度6弱以上8.4％）。建物倒壊、外壁破片の落下、ガラスの破損、天井材・物品の落下、火災の発生、ライフライン（電気・水道）の停止、通信手段の途絶のおそれ。液状化リスクは低い（表層地盤増幅率0.98）。 |
| 水害         | 長岡京市内には小畑川・犬川等の氾濫による洪水浸水想定区域および内水氾濫リスクがある。当教室所在地（長岡2丁目・海拔約27m）はビル3階に位置し、教室自体の浸水リスクは低い。送迎経路・周辺道路の冠水に注意する（長岡京市防災ハザードマップ〈令和7年3月発行〉参照）。                                 |
| 交通被害（地震直後） | 道路：京都縦貫自動車道・京都市道4105号線・府道10号、79号は通行不能。鉄道：阪急京都線・JR京都線は不通。                                                                                                            |
| その他・立地     | 長岡地区は土砂災害警戒区域に該当しない（市の土砂災害警戒区域は西山山麓部に分布）。最新の被災想定は長岡京市防災ハザードマップで随時確認する。                                                                                              |

### 【ハザードマップの確認先】

- 長岡京市防災ハザードマップ（令和7年3月発行）  
<https://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000000329.html>
- 京都府マルチハザード情報提供システム  
<https://g-kyoto.pref.kyoto.lg.jp/>
- 重ねるハザードマップ（国土交通省）  
<https://disaportal.gsi.go.jp/>

## （３）避難場所・避難方法

| 区分  | 第1避難場所          | 避難方法                         |
|-----|-----------------|------------------------------|
| 施設内 | 訓練室スペース（窓のない壁際） | 安全確認ののち、落ち着いて行動する。           |
| 施設外 | 建物倒壊の被害を受けない場所  | 避難時は靴を履く。周囲の状況を確認して安全確保に努める。 |

## （４）優先業務・体制

優先する事業：児童発達支援（通所支援）／優先業務（直接支援）に必要な職員数（常勤換算）：午前 3名・午後 3名

研修・訓練：避難訓練 年2回（8月・3月）／BCP研修 年1回（8月）

## （５）備蓄品リスト

### 【飲料・食品】

| 品名    | 数量 | 消費期限 | 保管場所 |
|-------|----|------|------|
| 保存水2L | 6本 | 5年前後 | 待機室  |
| ビスケット | 4箱 | 5年前後 | 待機室  |

### 【医薬品・衛生用品】

| 品名      | 数量 | 保管場所 |
|---------|----|------|
| 救急箱セット  | 1  | 事務所  |
| 非常持ち出し袋 | 1  | 玄関   |

【備品】

| 品名    | 数量 | 保管場所    |
|-------|----|---------|
| ヘルメット | 8  | 待機室・事務所 |

※メンテナンス担当：管理者

（６）連携先

【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

| 医療機関名          | 連絡先          |
|----------------|--------------|
| あかい家のこどもクリニック  | 077-572-5800 |
| しろいお城のこどもクリニック | 075-334-6830 |

【連携関係のある相談支援事業所等】

| 名称           | 連絡先           | 連携内容    |
|--------------|---------------|---------|
| アスハレ相談支援センター | 050-5369-1251 | 相談支援事業所 |

【共同訓練】教室内で行う。また建物が入っている法人の避難訓練にも参加をする。

更新履歴（沿革）

- 各教室版「自然災害発生時における業務継続計画」（大萱教室・一里山教室・長岡天神教室）を統合
- 令和8年4月1日 3教室共通版として統合改定（第1部共通編＋第2部教室別事項の構成に再編、地域リスクを最新のハザード情報で更新、体制を役職ベースに整理）